

# ラムサール条約湿地で活動するユースによる「ユースラムサール交流会」の開催 ～ユースによる湿地保全に向けての普及啓発活動と全国湿地ネットワークの構築～

〒453-0855  
愛知県名古屋市中村区烏森町8-709  
ラポール烏森A-203  
電話：052-446-8489  
E-mail: youth.ramsar.japan2015@gmail.com  
http://youth-ramsar-japan.jimdo.com/



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



湿地交流の成果発表(熊本県荒尾市)

交流会の開催地	3カ所
交流会の参加者数	31人
今年度計画の達成度	80%
活動の全体目標に対する達成度	70%

## 苦労した点と工夫した点



### ■ 苦労した点

参加者の確保：「円山川下流域・周辺水田」と「釧路湿原」の企画の間隔が2週間ほどしかなく、参加者が十分に確保できなかった。

### ■ 工夫した点

交流会の開催にあたっては、現地の自治体やNGO、全国的な湿地保全のNGOなどと事前に十分に打ち合わせの上で実施した。

### 課題

中学生や高校生になったユースに、さらなる学習の場と成長のきっかけとなる全国的な活動が行われていない。

### 目標

日本各地の湿地で活動するユースが集まり、20人規模のユースラムサール交流会(CEPAワークショップ)が定期的で開催される。

### 活動内容と成果

●ユースラムサールCEPAワークショップの開催：「円山川下流域・周辺水田」(兵庫県豊岡市)、「釧路湿原」(北海道鶴居村)、「荒尾干潟」(熊本県荒尾市)と地域、タイプの異なる湿地で開催。それぞれ地元行政やNGOと連携して実

施し、地元を巻き込む形で事業を進めることができ、広く湿地保全についての知識を持つ人材を増やすことができた。また、それぞれの開催地からの参加者があった他、藤前干潟(愛知県)、琵琶湖(滋賀県)、くじゅう坊ガツル・タデ原湿原(大分県)と、他の地域で活動するユースからの参加もあった。



湿地の整備作業の手伝い(兵庫県豊岡市)

### 今後の展望

2018年度のCEPAワークショップ開催予定湿地について会内での話し合いを進めており、開催場所、日程が決まりつつある。また、開催内容についても、前年度の反省を踏まえ、新たな展開にもチャレンジする。